事剂	多事為	削押価	シー	- 卜 1	_	1									事系	务事	集No.		10	-	5)
事	業	分	類	✓	ソフ	۱] //-	ード	□ 必	需	公 的	関	与	8	作」	戎 日	30	年	6	月	27	日
事	j	集	名	子ど	も支	援事	業								シ	_	۲	· 11	F.	成	部	署
総合		+ #=	/dis	6 請	吾らし	ハのあ	るまち	5							課名	子と	きも家	庭課	係名	子ど	も支	援係
合計	李 ·	本 施	朿	6-3	人	権を尊重するまちをつくる						シー	- 卜 作 成 者									
画上	0-		6-3-	i-3-1 人権尊重社会の形成							予	会計 一般										
の位	施策														i i	款		3				
置				①人	 人権教育・啓発推進体制の充実							費日	費項目		2							
け	付 主要施策 ②人権教					で育・啓発の推進											B			1		
1	固別言	計画名	i																			
住	民	٤	の	関	ゎ	りな	· 聴会	* 審議	会・委	員会·	への住民	是参画										
	対象	に誰	を、	何を	<u>F)</u>					目的	しどう	いうキ	犬態に	した	いのだ	jv)						
事業	東員	町住	民								もの権											
の											し愛さん できる。							りを导	里し	ノ、 15	建たれ	ا^ر
対象																						
目									うのか													
		どもの権利条例に示されている「子どもの権利」を保障し、東員町に住むすべての子ども達が愛し愛され											東員町	に住	ヾて (をがす						
的	■ 女心して健やかに春らせることかできるまらってりを進め								亅を准め	進める。										ħ		
-	安心	いして	健や	יוינגי	- 存り	رہ <u>جا</u> ر		, C = .	るまり	づくり	りを進め	්										れ
	安心) L C	健で	יויתי	- 春 5	رہ۔ <u>ع</u> ر	13	, 6.5	るま り	づくり	りを進め	්										ħ
内容													午	F 使 (在 昆	祖)		抽問	银坑	? <i>†</i> ?	
- 内容		業	期		間	昭和	平成		27 年1	变	~ 1	ヹ成		F度(年間			期間	設定	≧なし	
- 内容		業	期		間	昭和	平成		27 年1	变		ヹ成							期間]設定	≧なし	
内容事		業	期		間	^{昭和} みんな	平成 よで ー 5	歩ずつ	27 年1	变	~ 平 っていく	^z 成 (東員		Ľŧσ.)権利			陇30年				
- 内容 事 根	拠法	業	期・要	更 綱	間	^{昭和} みんな	平成 よで ー 5	歩ずつ	27年) 未来へ (決算)	变	~ 平 っていく	^z 成 (東員	町子と	どもの 決算))権利							,
- 内容 事 根	拠法	業 5. 令	期・要	E 綱	間	^{昭和} みんな	平成 よで ー 5	歩ずつ	27年) 未来へ (決算)	度へ向か	~ 平 っていく	^z 成 (東員	町子と	どもの 決算))権利						草)	,
· 内容 事 根 全 財	拠事国県	業 令 庫 支	期 · 野 千円 支	E 綱	間 等 +B	^{昭和} みんな	平成 よで ー 5	歩ずつ	27年) 未来へ (決算)	度 へ向か 468 0 0	~ 平 っていく	^z 成 (東員	町子と	どもの 決算))権利 164 0						草)	86 0
内容 事 根 全 財源内	拠 事 国 県 地	業 令 達費 (期子下支上方	多網	間 等 B 金 債	^{昭和} みんな	平成 よで ー 5	歩ずつ	27年) 未来へ (決算)	度 へ向か 468 0 0	~ 平 っていく	^z 成 (東員	町子と	どもの 決算))権利 164 0 0						草)	86 0 0
内容 事 根 全 財源	拠 事 国 県 地	業令に費庫支	期野門支上方特	E 利 D A H D D D D	間 等 B 金 金 債 源	^{昭和} みんな	平成 よで ー 5	歩ずつ	27年) 未来へ (決算)	度 へ向か 468 0 0 0	~ 平 っていく	^z 成 (東員	町子と	どもの 決算) 4,	164 0 0 0						算) 1, 38	886 0 0
内容 事 根 全 財源内訳	拠事国県地そー	業命で養庫支他般	期野干支上方特別	契綱 A- 出 財	間 等 B 金金債源源	^{昭和} みんな	平成 よで ー 5	歩ずつ	27年) 未来へ (決算)	度 (内か (468 (0) (0) (0) (762)	~ 平 っていく	^z 成 (東員	町子と	どもの 決算) 4,	164 0 0 0 0 0						算) 1, 38	86 0 0 0
内容 事 根 全 財源内訳 直	拠事国県地そ一事	業 令 達費 (ごの) 世	期野干支上方特別千円	夏柳	間 等 B 金金債源源	^{昭和} みんな	平成 よで ー 5	歩ずつ	27年))未来へ (決算) 3,	度 (向か 468 0 0 0 0 762 762	~ 平 っていく	^z 成 (東員	町子と	どもの 決算) 4,	164 0 0 0 0 0 , 194						算) 1,38	86 0 0 0 0 660
内容 事 根 全 財源内訳 <u>直</u> 人	拠事国県地そ一事費	業 令 達庫 支 他 般 賞 千円	期野門支持門門	阿姆 (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1)	間等 + 金金債源源	昭和 みんな 平	平成 はで 一さ は成28 全	歩ずつ	27年) ②未来个 (決算) 3,	度 (内か 468 0 0 0 762 762 706	~ 平	^工 成 (東員 戊29年	町子と	どもの 決算) 4, 1 1 2	164 0 0 0 0 , 194 , 194	条例	平成	艾30年			第) 1, 38 6 6 6	886 0 0 0 0 660 660
内容 事 根 全 財源内訳 直 人 内	拠す国県地そ一等費の	業のでは、大きのでは、たらのでは、た	期野千支。方特,千户人	更 網) A· 出 出 定 財 オ オ 3	間 +B 金 債 源 A 円)	^{昭和} みんな	平成 はで一を で成28年	歩ずつ	27年) ②未来个 (決算) 3,	度 (向か) 468 0 0 0 0 762 762 706 706	~ 平 っていく	^工 成 (東員 戊29年	町子と	どもの 決算) 4, 1 1 2	164 0 0 0 0 , 194 , 194 , 970	条例		人			第) 1, 38 6 6 6	86 0 0 0 0 660 660 (26 (26
内容 事 根 全 財源内訳 直 人 内	拠す国県地そ一等費の	業 令 達庫 支 他 般 賞 千円	期野千支。方特,千户人	更 網) A· 出 出 定 財 オ オ 3	問等 +B 金金債源源 A 9)	昭和 みんな 平 0.4	平成 なで一さ で成28 全	歩ずつ	27年) ②未来个 (決算) 3,	度 (内か 468 0 0 0 762 762 706	~ 平	^工 成 (東員 戊29年	町子と	どもの 決算) 4, 1 1 2 2	0 4 0 0 0 0 , 194 , 194 , 970 0	条例	平月	人 人	度	(予算	算) 1, 38 6 6 6 7 7	886 0 0 0 660 226 226 0
内容 事 根 全 財源内訳 直 人 内	拠す国県地そ一等費の	業のでは、大きのでは、たらのでは、た	期野千支。方特,千户人	更 網) A· 出 出 定 財 オ オ 3	問等 +B 金金債源源 A 9)	昭和 みんな 平	平成 なで一さ で成28 全	歩ずつ	27年) ②未来个 (決算) 3,	度 (向か) 468 0 0 0 0 762 762 706 706	~ 平	^工 成 東 貞 戊29年 人 人	町子と F度(え	どもの 決算) 4, 1 1 2	164 0 0 0 0 , 194 , 194 , 970 0	条例	平成	人 人 00年月	E	(予算	章) 1,38 6 6 6 7 7	86 0 0 0 660 660 226 226 0
内容 事 根 全 財源内訳 直 人 内訳	拠す国県地そ一等費の	業令でである。	期事一件支上方特。千)人人	綱 A. 出 財	間 等 B 金金債源源 (P) 成	昭和 みんな 平 0.4	平成 なで一さ で成28 全	歩ずつ 年度 (27年) ②未来个 (決算) 3,	度 (向か) 468 0 0 0 0 762 762 706 706	~ 平 っていく 平 月 0.45	^工 成 東 貞 戊29年 人 人	町子と	どもの 決算) 4, 1 1 2 2	0 4 0 0 0 0 , 194 , 194 , 970 0	条例	平成	人 人	E	(予算	算) 1, 38 6 6 6 7 7	86 0 0 0 660 660 226 226 0
内容	拠事国県地そ一事費般時	業令でである。	期。一行支上方特「干)人人	網	間等 B金金債源源 A P) 成価	昭和 みんな 平 0.4	平成 なで一さ で 成28 全 1 人	歩ずつ 年度 (27年) ②未来个 (決算) 3,	度 (向か) 468 0 0 0 0 762 762 706 706	~ 平 っていく 平 の. 45	^工 成 東 貞 戊29年 人 人	町子と F度(え	どもの 決算) 4, 1 1 2 2	164 0 0 0 0 , 194 , 194 , 970 0	条例	平成	人 人 0年月	E	(予算	章) 1,38 6 6 6 7 7 7	86 0 0 0 660 660 226 226 0
内容		業令でである。一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、一つでは、	期。一千支一方特一千)人人	編 (A) 出 財 (大) () () () () () () () () (間 等 B 金金債源源 O 可 成 何	昭和 みんな 平 0.4	平 成 28 4	歩ずつ 季度 (27年) ②未来个 (決算) 3,	度 468 0 0 0 762 766 706 0	~ 平 っていく 平 の. 45 単位 件	^工 成 東 貞 戊29年 人 人	町子と F度(え 2 目標 3	どもの 決算) 4, 1 1 2 2	164 0 0 0 0 , 194 , 194 , 970 0 E 実利	条例	平成	人 人 0年月	E	(予算	章) 1,38 6 6 6 7 7 1 1年度 目標	86 0 0 0 660 660 226 226 0
内容	拠事国県地そ一事費制時	業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	期。一千支上方特二千)(人人 講路 作指	編 A 出 財 が A 会 回 育 は く 数・人	間等 B金金債源源 A P) 研修発に	昭和 みんな 平指 の に関す	平 d d d d d d d d d d d d d d d d d d d	歩 手度 数 みらなる	27年) の未来へ (決算) 3, いての記 数値でる	度 468 0 0 762 762 706 706 0 尚足皮	~ 平 っていく 平 の. 45 単位 件 件 %	成東 4 29年 人人	町子と F度 (え B標 3 5 35 を 和 に	ジもの 決算) 4,	164 0 0 0 , 194 , 194 , 970 0 E 実制 3 5	条例 0	平成 3 (人 人 0 年 月 3 5 40	E	(予算	章) 1,38 6 6 6 7 7 7 1年度 目標 3 5	86 0 0 0 0 660 660 (26 (26 0
内容	拠事国県地そー等費制時	業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	期。一千支上方特二千)(人人 講路 作指	編 A 出 財 が A 会 回 育 は く 数・人	間等 B金金債源源 A P) 研修発に	昭和 みんな 平指 の に関す	平 d d d d d d d d d d d d d d d d d d d	歩 手度 数 みらなる	27年) の未来へ (決算) 3, いての記 数値でる	度 468 0 0 762 762 706 706 0 尚足皮	~ 平 っていく 平 の. 45 単位 件 件 %	成東 4 29年 人人	町子と F度 (え B標 3 5 35 を 和 に	ジもの 決算) 4,	164 0 0 0 , 194 , 194 , 970 0 E 実制 3 5	条例 0	平成 3 (人 人 0 年 月 3 5 40	E	(予算	章) 1,38 6 6 6 7 7 7 1年度 目標 3 5	86 0 0 0 0 660 660 (26 0 (26 0

事務	事業	集評 個	西シート	1 – 2							事務事	業No.	10 -	-	5
事業	名	子と	ごも支援署	事業							シート作	成課	子ど	も家	庭課
	<u>_</u> 2	欠評值	西者		子ども家庭	፤課長	二岁	火評 位	古者			福祉部	長		
			- N. 88		チェック項		一次	二次		一次の評価又は説明					
	必要牲	2. 社利住 15. 6. 7.	会情勢の変化: 用者、対象者(民ニーズを上 や他市町と比! や県のサービス	など時の経過と の減少など住民 回るサービス 提 較するとサービ スと重複してい と競合している	ニーズの低下傾向 供となっている。 スの対象や水準を いる。	の目的が変化してきてい がみられる。 見直す余地がある。	งる。		0000000	例の理念 ども達か	成27年6月に施行された子どもの 0理念に基づき東員町に住む全 5達が愛し愛され健やかに成長 うなまちづくりを進めることが				の子 きる
評	有効性	2. 施	策への貢献度	が著しく高いと・重複した事務		も適切とはいえない。	子 と				ども達が保護者や友人、地域の中で 必要とされている」と感じることで自 肯定間を育み、また自分を大切にする とを覚えることで、他者への思いやり ひも育まれます。				
価項目の説	達成度	2.事	業開始時の目標を達成	標設定に比べて 標に比べて成果 していると思う 成していると思	いると思う。			条例制定から啓発や学の勉強会を行っているの権利を大切にしているを町内はもちろん町外によりが必要です。				。東員町が子ども るまちということ			
明	効率性	2. 現 3. 他 4. 他 5. a	在の事業実施 の実施主体の の実施主体を 選業実施してい 子化等の事務	主体の他に効率 ノウハウを活用 活用しても公平 る人員、手段等 改善によりコス	がに事業を実施で できる。 性・公正性等が担	保され、行政責任が問れ スト削減の余地がある。 る。		000000	000000			いては、 率的に進			
		1				本事務事業	の実施適	切性	の討	说明					
	<i>></i> (1)	/JI-X	C07 5407	CIETION	N 101 NH	啓発、救済等(9J	<i>5</i> 0						
			必	要性	有効性	達	述度		効率	뚇性	(0)	総合	評価		
	評	価		要性	有効性		成度		勃 率	<u>—</u>	(7) (6)	B D	8	<u>A</u> C	
			4		4		_		.,,,	<u>—</u>	(7) (6)	B D	※評価	С	(8)
一次評価	今後	後のす針	4	4	4	(_		.,,,	4	(7) (6)	B D	8	С	(8)
一次評価	今方今改改	後の	平成 2 7	4 休・廃止 7年6月1	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	(3 冬発や小「		女 で(継続 ○ の勉強会	などに取	B D 数り組んで	拡大	C	ぶ、今
評	今方今改改	後のを発生している。	平成2万後も継続	4 休・廃止 7年6月1	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	見直し 行され、周知啓 住民へ広く記	3 冬発や小「		女 で(継続 ○ の勉強会 発を推進	などに取	B D xり組んで	拡大	C	(B) (S) (A)
評価	今方今改改	後のを発生している。	平成 2 7 後 も 継糸	休・廃止 7年6月1 売して取り	4 こ条例が施行 り組むほか、	見直し 行され、周知を 住民へ広く記	3 冬発や小 ^ロ 忍知される		交でで う 効	継続 ○ の勉強会 発を推進	⑦ ⑥ ② などに取 します。 ® ⑦ ⑥	B D xり組んで	8 拡大 ごきまし	C	(3) が、今
評価 二次評	今方 今改改目 評 今後	後針の・善標のの・	平成 2 7 後 も 継系	休・廃止 7年6月1 売して取り	4 こ条例が施行 り組むほか、 有効性	見直し 行され、周知を 住民へ広く記	3 客発や小口 忍知される		交でで う 効	継続 ○ の勉強会発を推進	⑦ ⑥ ② などに取 します。 ® ⑦ ⑥	B D 取り組んで 総合 B	8 拡大 ごきまし	C ::	ぶ、今
評価 二次	今方 今改改目 評 今後	後針のでは、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個では、一個	平成 2 7 後 も 継系	休・廃止 7年6月I 売して取り 要性	4 こ条例が施行 り組むほか、 有効性	見直し	3 客発や小口 忍知される		交でで う 効	継続 ○ 加強会発を推進	⑦ ⑥ ② などに取 します。 ® ⑦ ⑥	B D 取り組んで 総合 B	8 拡大 できまし	C ::	3 ³ 、今
評価 二次評	今方 今改改目 評 今方 コ	後針の・善標のの・	平成27後も継続	4 休・廃止 7年6月I で た 大・廃止	4 こ条例が施行 り組むほか、 有効性	見直し	3 ・	5 L ?	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	#続 ○ 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	の を などに取 します。	B D S S S S S S S S S S S S S S S S S S	8 拡大 できまし 評価 8 版大	C :	(8)
評価ニ次評価ニ次評価ニカ	今方 今改改目 評 今方 コン 評談	後針後革善標価ののサーストーに	平成27後も継続	4 休・廃止 7年6月I で た 大・廃止	4 こ条例が施行 り組むほか、 有効性 4	見直し	3 ・	5 L ?	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	#続 ○ 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	の を などに取 します。	B D S S S S S S S S S S S S S S S S S S	8 拡大 できまし 評価 8 版大	C :	(8)